

大分市長 足立 信也 殿

# 移住・定住の取組に関する 提言書

令和6年12月12日

大分市議会議長 二宮 博

大分市議会議員政策研究会

会長 阿部 剛四郎

議員政策研究会では、大分市が人口減少や高齢化の進展などによる地域の担い手不足等の課題に直面していることを勘案し、令和5年7月14日に開催した全体会議において、「移住・定住の取組」を政策課題とすることに決定しました。移住・定住を促進することにより、新しい力と協働しながら地域の活性化を図り、皆が互いに支えあい、持続的に発展する大分市を目指して、その実現に向け、人口減少社会における様々な課題に対する取組も含め、調査研究に取り組んできました。

その取組内容として、大分市における移住・定住に関する現状についての確認、京都府福知山市、鳥取県米子市への視察調査、全体研修会等を実施してきました。また、令和5年及び令和6年の市民意見交換会において、市内13会場で市民の皆様と意見交換を行うほか、移住者や大学生、関係者等との意見交換やパブリックコメントを行う中、いただいた意見等を整理し、政策提言に向けた協議を行ってきました。

このように、約1年5か月に及ぶ調査研究の結果、大分市の魅力や魅力発信、仕事、住居、Uターン施策、安心して移住できる環境づくり、横断的な取組の6項目に関することを移住・定住の取組に関する提言書として取りまとめましたので提言いたします。

本研究会では、今回の政策提言でいう「移住・定住」を、「大分市外から大分市に移り住み、大分市に住み続けること」と捉え、以下のとおり提言をまとめました。

## **(1) 本市の魅力や魅力発信に関すること**

### **① 本市の魅力の再発見・再認識について**

ア 本市には、歴史や文化、自然環境、生活の利便性、食、地域とのつながり、人の温かさなど数多くの魅力があることから、これまで以上に様々な観点から、潜在的な魅力の発掘や、再発見・再認識に向けて取り組むこと。

イ 本市は、“ほどよく都会でほどよく田舎”というそれぞれの特徴を持ち合わせていることから、その両面の魅力を認識し、移住・定住促進のため、発信に努めること。

### **② 新たな魅力づくりについて**

ア 移住地・定住地として魅力ある場所であり続けていくために、市民とともに魅力づくりに取り組むこと。

イ 進学などを契機に都市部に転出する若年層や、移住を考える若年層などを惹きつけるため、若年層が魅力を感じるイベントや場所などの新たなコンテンツの創出に向けて取り組むこと。

### ③ 工夫した情報発信について

- ア 本市の魅力や、新たに創出したコンテンツなどと合わせて、移住・定住に関する施策等について、様々な媒体を通じて広く周知し、充実した情報を容易に入手できるよう、工夫したPRを行うこと。
- イ 本市で既に実施している子育て施策や観光施策などの各種施策については、移住を検討する際の判断材料となり、定住につながることも考えられるため、様々な施策を総合的に広報する情報発信を検討すること。

## (2) 仕事に関すること

### ① 就労に関するサポートについて

移住やその後の定住を考える場合、就労に関することは重要な要素であり、雇用形態や働き方のスタイルなどが多様化している中で、円滑に、かつ、柔軟にマッチング等ができるよう、次に掲げる事項について検討すること。

- ア 企業と協力した取組
- イ 移住者が継続して働くことができる環境整備や支援
- ウ 幅広い年代に対応したサポート
- エ 多様な働き方に応じた職のマッチングに関する啓発など

## ② 本市産業の担い手確保について

- ア 農業、林業、漁業等の第一次産業の担い手不足が深刻であり、移住を伴う新規就業希望者を支援することは、将来の担い手の確保にもつながると考えられるため、第一次産業に関する就業支援等について、制度の周知やさらなる充実について検討すること。
- イ 移住者が新規就業する際に、安心して就業することができるよう、研修体制や住まいなど、新規就業者を受け入れる環境の整備に関する支援に努めること。

## (3) 住居に関すること

### ① 住宅に関する支援について

移住者が、そのライフスタイルに合った住まいを見つけ、安心して住み続けることができるよう、移住前に本市の生活を体験できるお試し住宅などの取組を検討するとともに、円滑な移住につながるよう、利用しやすい補助制度の充実を図るなど、あらゆる角度から住宅に関する幅広い支援を行うこと。

### ② 空き家の活用について

住まいを探している移住者が空き家を活用することにより、本市の空き家解消にもつながる可能性があるため、次に掲げる事項について検討すること。

ア 「大分市住み替え情報バンク」などの制度のさらなる周知等

イ セルフリノベーションやD I Yなど、ニーズに応じた活用方法

#### (4) Uターン施策に関すること

##### ① Uターン促進について

進学や就職などによる転出者を対象とした、Uターン促進に特化した取組について検討すること。

##### ② ふるさとへの愛着につながる取組について

将来のUターンにつなげるため、祭りなどを通じた地域でのつながりづくりや、郷土に関する教育など、ふるさとへの愛着を深める取組を推進すること。

#### (5) 安心して移住できる環境づくりに関すること

##### ① 移住前の情報収集について

移住を検討するに当たっては、移住先のコミュニティや地域に関すること、生活環境など様々な情報が必要であり、それらの情報を充実させることは移住の後押しや不安の解消につながることから、移住検討時の市内ガイドや下見費用の支援、お試し移住の取組など、移住地の情報収集の支援について検討すること。

##### ② 移住後のつながりについて

移住者が移住した地域に安心して住み続けることができるよう、地域住民や先輩移住者などと交流する機会を創出する取組について検討すること。

## (6) 横断的な取組に関すること

### ① 移住者のニーズ把握などについて

- ア 移住者に関して、その年代や居住エリアなど、各種データを収集・分析し、移住者のニーズを把握するとともに、移住促進施策へ反映するよう努めること。
- イ 移住者が移住した地域に安心して住み続けることができるよう、移住検討段階から定住に至るまで、切れ目のない丁寧なサポートを行うこと。また、移住者のニーズ把握等とあわせて、移住者へのサポートについて、関係部局間で連携協力し、一体的な施策の推進を検討すること。

### ② 地域との多様な関わりや特色に応じた対策について

- ア 国が二地域居住を通じて地方への人の流れの創出などを推進する中、複数の拠点を持つライフスタイルを求める人も見られることから、将来的な移住につながる可能性がある複数拠点生活に関する取組について検討すること。
- イ 本市の中でも、中心部と周辺部では地域性や生活環境が大きく異なることから、移住者のニーズを把握する中で、各地域の実情・特色にあった対策や情報発信に努めること。

## 大分市議会議員政策研究会

会 長 阿 部 剛四郎

副会長 日小田 良 二

副会長 今 山 裕 之

運営委員 仲 家 孝 治

スカルリーパー・エイジ

福 間 健 治

野 尻 哲 雄

推進チーム 座 長 倉 掛 賢 裕

副座長 宮 邊 和 弘

メンバー 長 野 辰 生

足 立 義 弘

斉 藤 由美子

宇都宮 陽 子

松 本 充 浩

岩 川 義 枝

大 石 祥 一

川 邊 浩 子